

<p>【技術の名称】 サクラコラム Pro 工法 ー先端に拡径部を有する柱状改良体を用いた地盤補強工法ー</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第 24-13 号 性能証明発効日：2024 年 11 月 15 日 性能証明の有効期限：2027 年 11 月末日</p> <p>【取得者】 株式会社 JFD エンジニアリング</p>
---	---

【技術の概要】

本技術は、柱状地盤改良体の先端に拡径部を設けた地盤改良体（以下、“補強体”と称する）を築造する地盤補強工法である。本技術の特徴は、従来の全長にわたり同径の地盤改良体に比べ、先端拡径部を設けることで支持力が増大することである。

なお、本工法に用いる補強体は、（一財）日本建築総合試験所 建築技術性能証明第 20-04 号改 1 として性能証明されているサクラコラム工法を用いることとしている。また、本工法による補強地盤の支持力は、基礎底面下の地盤の支持力を無視して補強体の支持力のみを考慮することとしている。



写真-1 築造した拡径部の一例

【技術開発の趣旨】

本技術は、補強体の先端を拡径することにより補強体 1 本あたりの支持力を増大させて、使用材料等を縮減可能とすることを意図して開発された。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、単杭状の補強体の鉛直支持力についてのみを対象としており、以下の通りである。

申込者が提案する「サクラコラム Pro 工法 設計施工指針」に従って設計・施工された補強体の許容支持力を定める際に必要な地盤で決まる極限支持力は、同指針に定めるスクリーウエイト貫入試験結果に基づく支持力算定式で適切に評価できる。

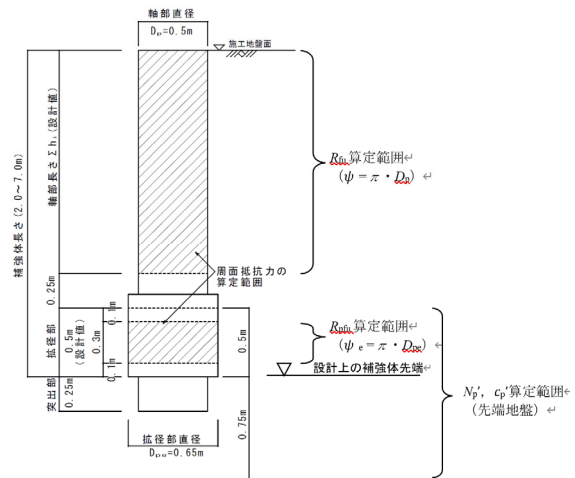


図-1 支持力成分の算定範囲

表-1 各箇所での地盤定数の適用範囲

箇所	砂質土	粘性土
先端地盤	<ul style="list-style-type: none"> $3.9 \leq N_p' \leq 9.3$ 個々の $N_{sw} \geq 12$ 	<ul style="list-style-type: none"> $18.1 \leq c_p' \leq 66.5 \text{ kN/m}^2$ 個々の $W_{sw} \geq 0.5 \text{ kN}$
拡径部周面	<ul style="list-style-type: none"> $1.0 \leq N_{ic}' \leq 8.0$ 個々の $W_{sw} \geq 0.5 \text{ kN}$, 個々の $N_{sw} \leq 100$ 	<ul style="list-style-type: none"> $20.8 \leq c_{ic}' \leq 52.5 \text{ kN/m}^2$ 個々の $W_{sw} \geq 0.75 \text{ kN}$, 個々の $N_{sw} \leq 96$
軸部周面	<ul style="list-style-type: none"> $1.5 \leq N' \leq 8.8$ 個々の $W_{sw} \geq 0.25 \text{ kN}$ 	<ul style="list-style-type: none"> $12.5 \leq c' \leq 31.8 \text{ kN/m}^2$ 個々の $W_{sw} \geq 0.25 \text{ kN}$, 個々の $N_{sw} \leq 104$

【本技術の問合せ先】

株式会社 JFD エンジニアリング 担当：芋野 公雄
 〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島 2 丁目 1-31 京阪堂島ビル 5 階

E-mail : imono@jfd-gr.co.jp
 TEL : 06-6690-8353 FAX : 06-6690-8354